

## 学生が創るイベント

ライフデザイン学科（以下、ライフ）では、入学直後の1年生を対象に1泊2日の「新入生研修」を開催します。このイベントを企画・運営するのが2年生の研修リーダー8人です。バスの中でのゲームはもちろん、3クラス合同ミーティング、2時間に渡る懇親会等、ほとんど全てを8人が仕切ってくれます。そんなリーダーの活躍ぶりを見た1年生が「先輩たちみたいになりたい」と翌年のリーダーを目指す好循環が生まれています。



また、ライフでは毎月、学生と教員と一緒に企画・運営する「マンスリーイベント」を開催しています。2015年度4月は、ひとり暮らしを始めたばかりの1年生に、美味しくなくて安くてボリュームのあるメニューを紹介しながらみんなでワイワイと食事をする「ひとり暮らし集まれ」、5月は、大学の敷地内で500円食べ放題のバーベキューを行う「学内BBQ」を開催しました。いずれも募集開始後すぐに定員に達する人気ぶりでした。

## 学生が創る授業

何事にも積極的なライフでは、授業まで学生自身が創っています。2013年プレゼン大会のテーマ「高知県嶺北地域の活性化」から生まれたのが「地域連携実践演習Ⅰ」です。過疎化に悩む地域を活性化するためには、自分たちがその中に入ってみないと何が問題かわからないと夏季休暇中に3泊4日、現地の方と生活をともにします。牛の世話をし、萱刈りをして、終われば川で遊び、夏祭に出かけます。研修を終えた後の懇親会では、本当の家族のように別れを惜しむ姿が印象的です。



また、2015年度後期には「社会人として必要なマナー」の授業が始まります。この授業では、毎回の内容を決めるのも進行するのも全て学生が務め、教員はあくまでもお目付け役です。友人の結婚式に招待されたらお祝いはいくら包めばいいのか、和食を食べる時、お椀の蓋はどこに置いたらいいのか…等、自分たちで決めたテーマにしたがい、既に必要な資料を集め授業に備え始めています。

